

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

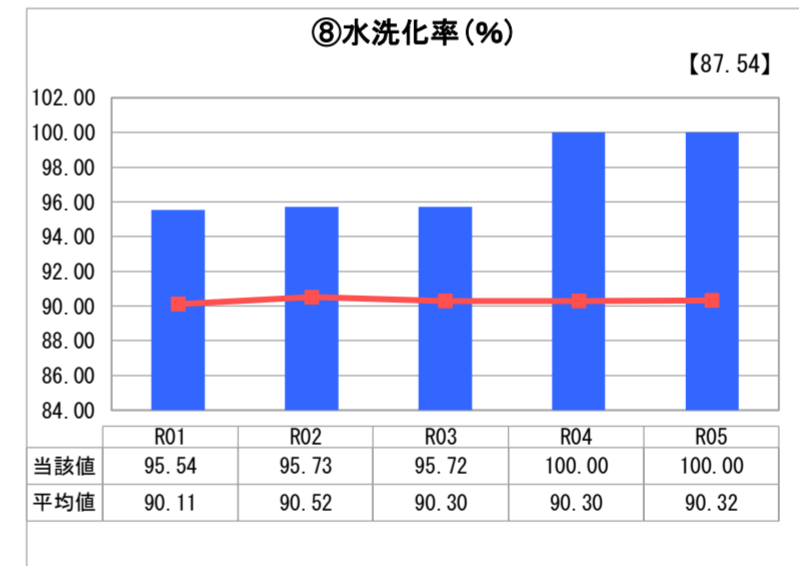
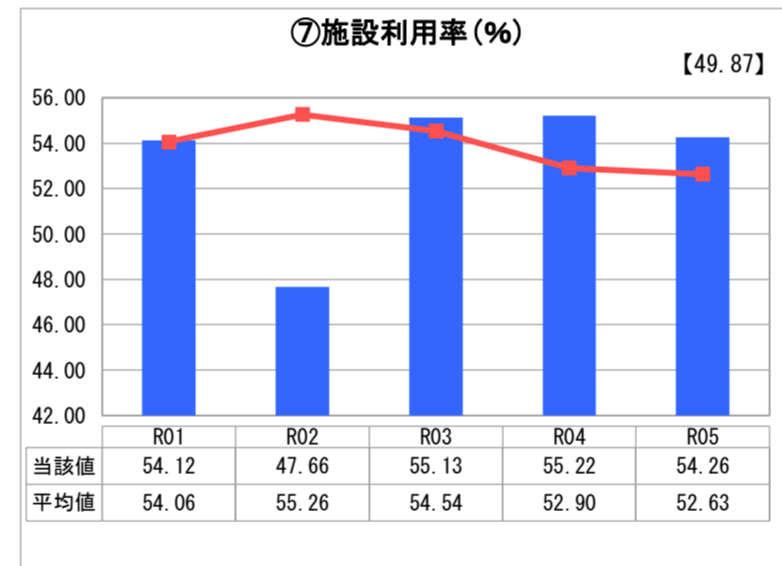
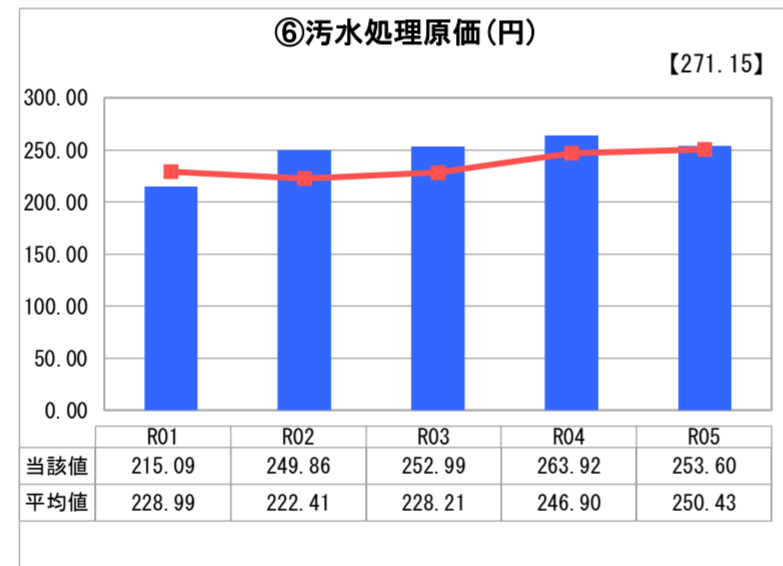
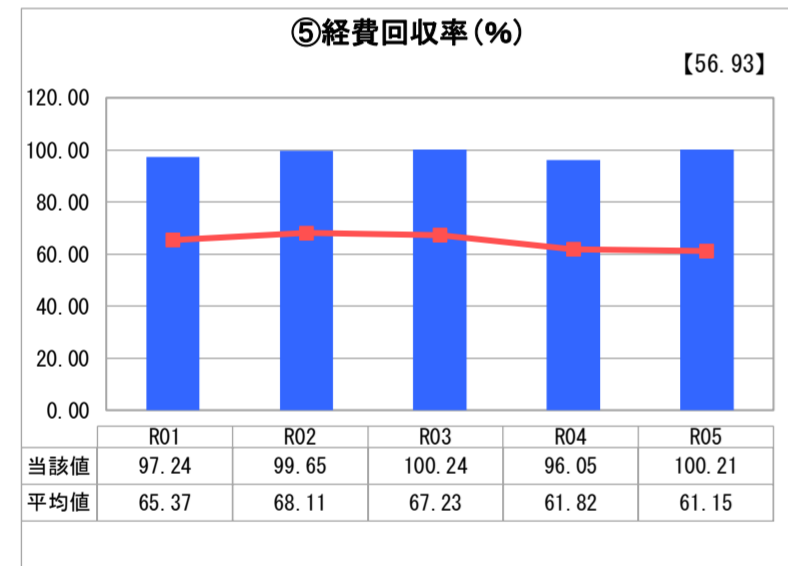
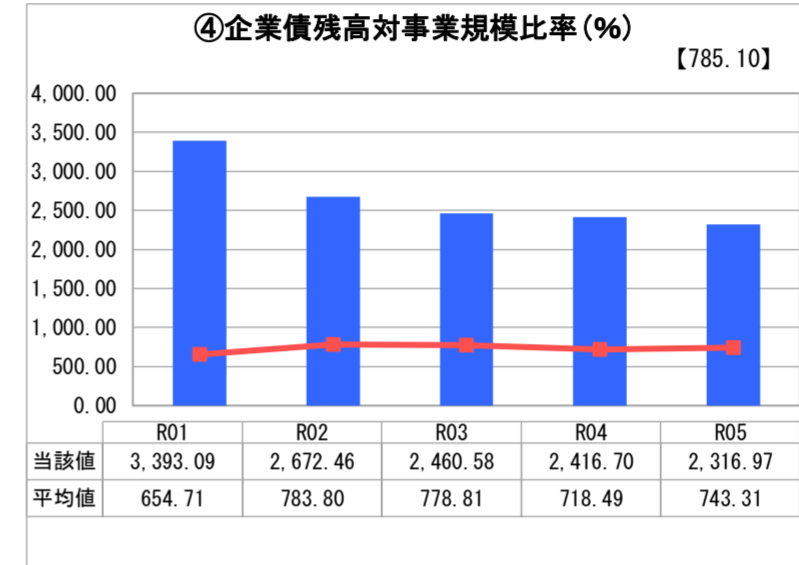
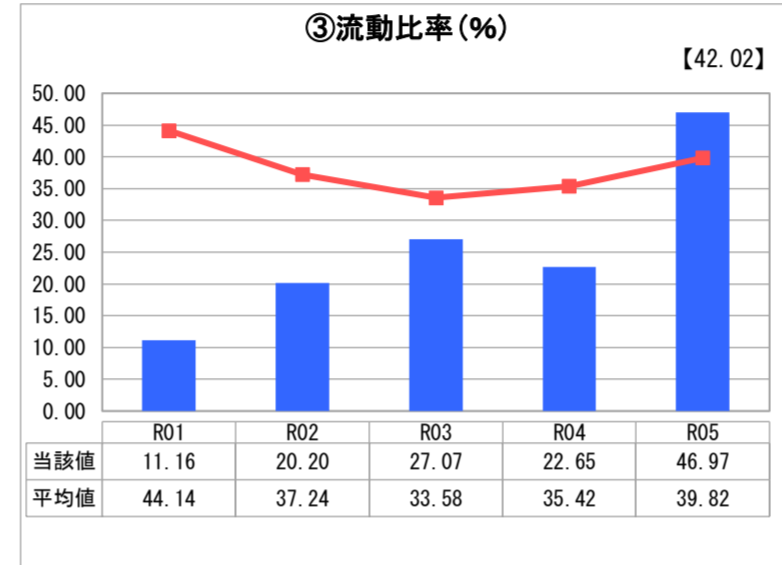
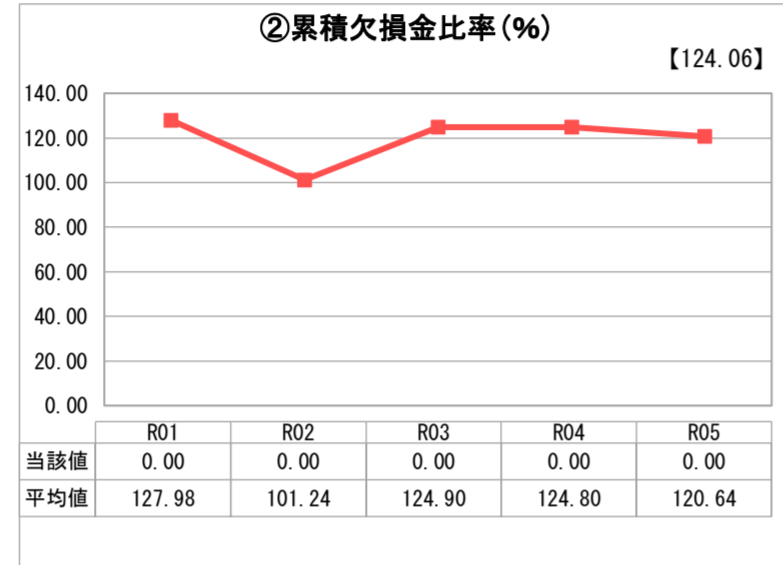
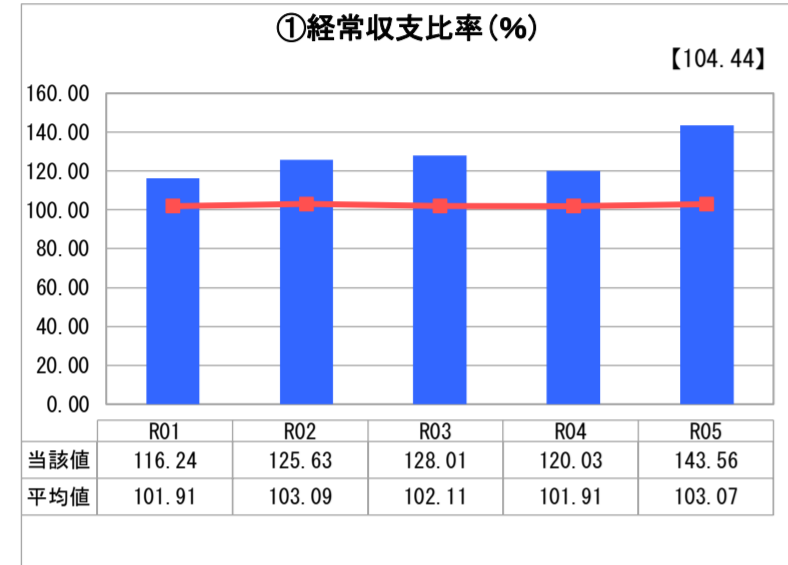
岩手県 金ヶ崎町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	57.72	28.98	86.28	5,060

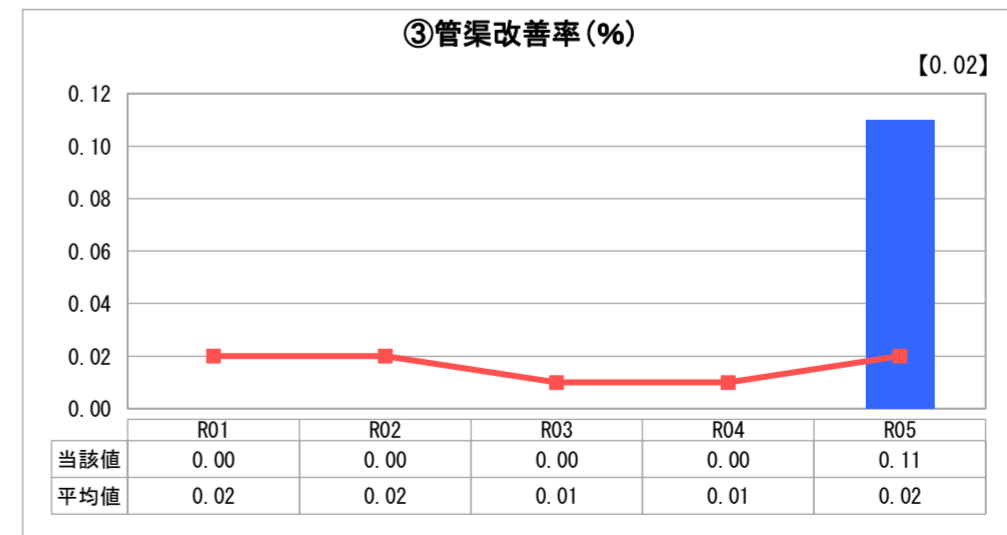
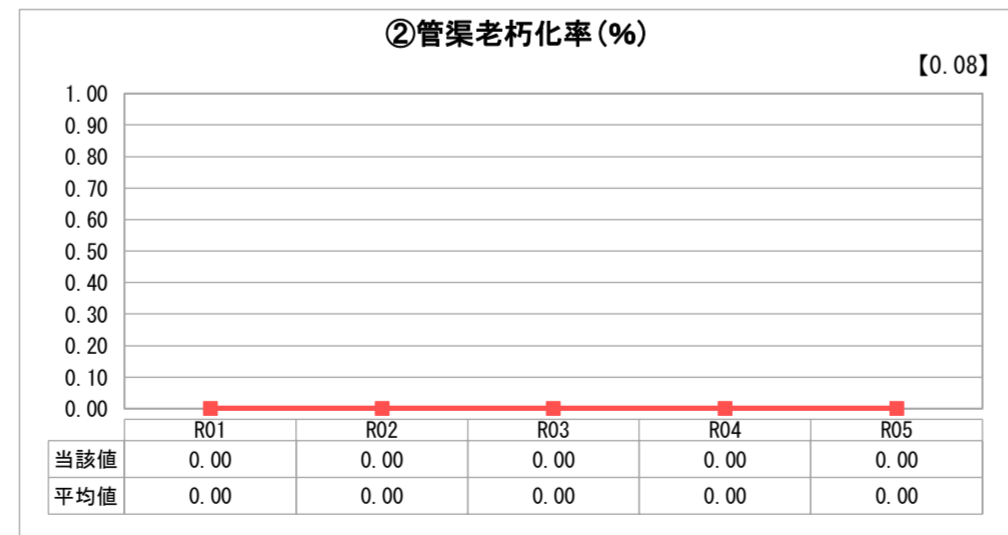
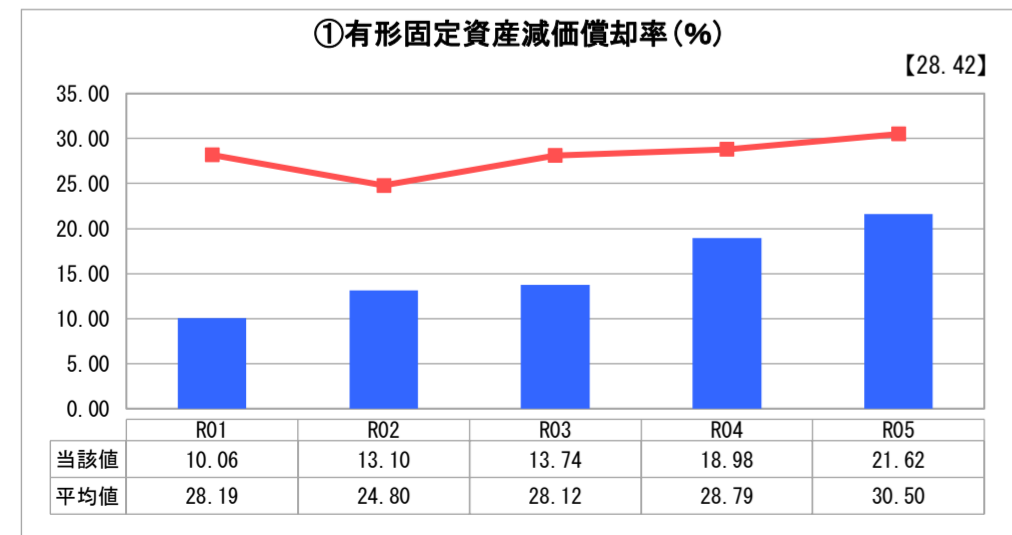
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,183	179.76	84.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,376	2.33	1,878.11

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、令和2年度の使用料改定により120%を上回っているものの、使用料収入を超える繰入金により収支の均衡を図っている。
- ② 流動比率は、使用料改定により改善されたが、依然として安定性に欠ける。
- ③ 企業債残高対事業規模費率については、企業債残高は多額となっており、一方で料金設定が低くなっているため比率が高くなっている。令和2年度の使用料改定により、減少傾向が見込まれる。
- ④ 経費回収率は100.21%と100%以上となったが、繰入金により収支の均衡を図っていることから、引き続き健全な経営に努めていく。
- ⑤ 汚水処理原価は全国平均程度であり、今後もコスト軽減に努めていく。
- ⑥ 水洗化率は、全国平均を上回っており、住宅需要により微増傾向となっている。

### 2. 老朽化の状況について

- 昭和61年度から整備を開始し、30年以上経過する管路があるが、大規模な改築、更新を実施するほどの劣化の確認には至っていない。
- ①有形固定資産減価償却率、③管渠改善率は、共に類似団体を下回り、悪化の傾向がみられる。
- 次期下水道事業計画変更(R6)において、公共下水道への接続により、段階的に処理場を廃止し、ライフサイクルコストの低減を検討する。

### 全体総括

料金収入のみでは、企業債の償還ができないことから、料金収入より多額の一般会計繰入金により、収支均衡を図っている。

「金ヶ崎町下水道事業中期経営計画」に基づき、令和2年4月に料金改定を実施したところ、指標の改善傾向がみられる。

今後も同計画に基づき、管理費用や改築更新に係る費用増、将来的な人口減少による使用料の減少を考慮し長期的な管理計画、経営及び料金改定等を行なっていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。